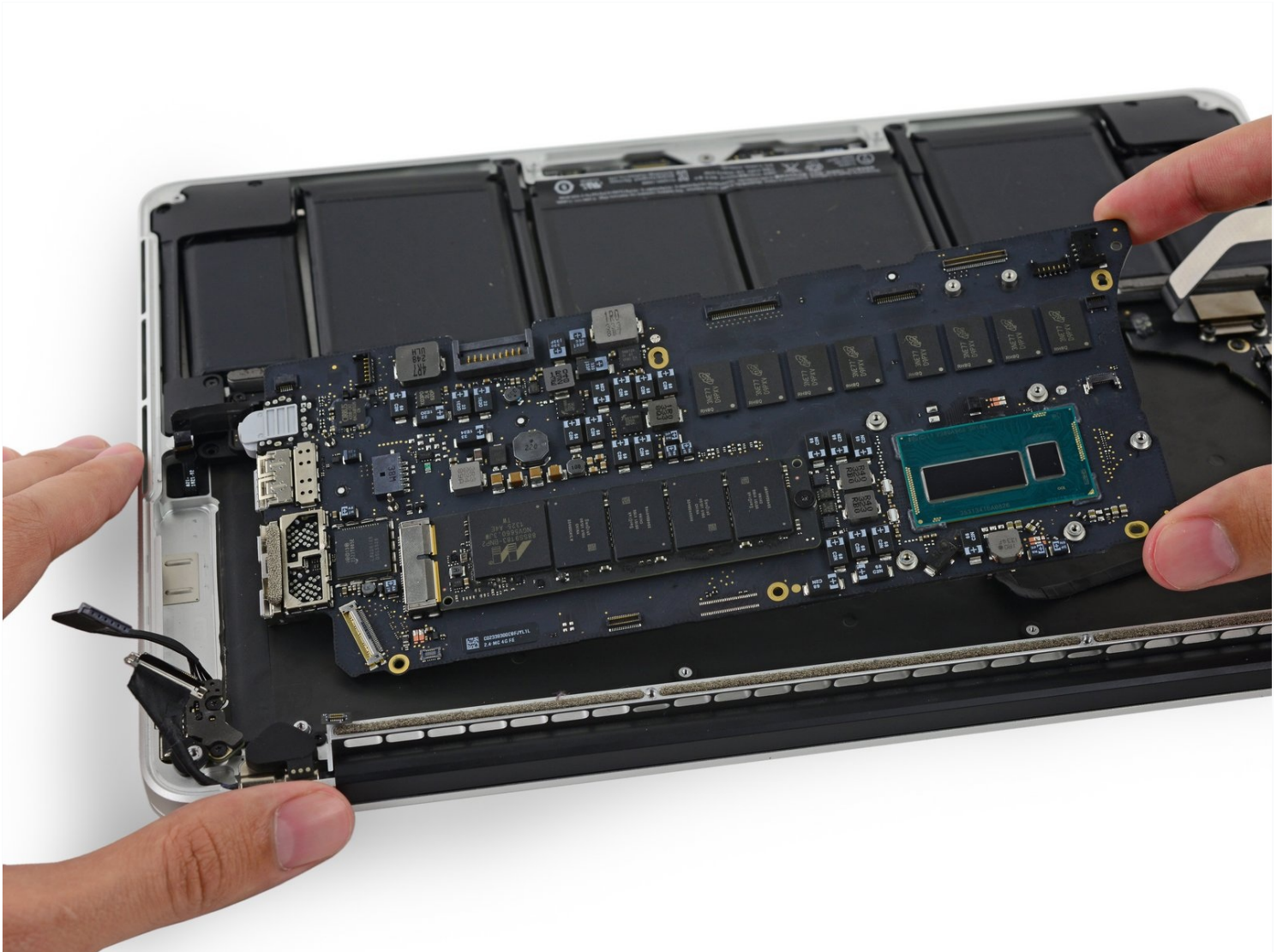




MacBook Pro 13インチ Retina Display Late 2013 ロジック ボードアセンブリの交換

ロジックボードを外すための必須条件

作成者: Sam Goldheart



はじめに

ロジックボードを外すための必須条件

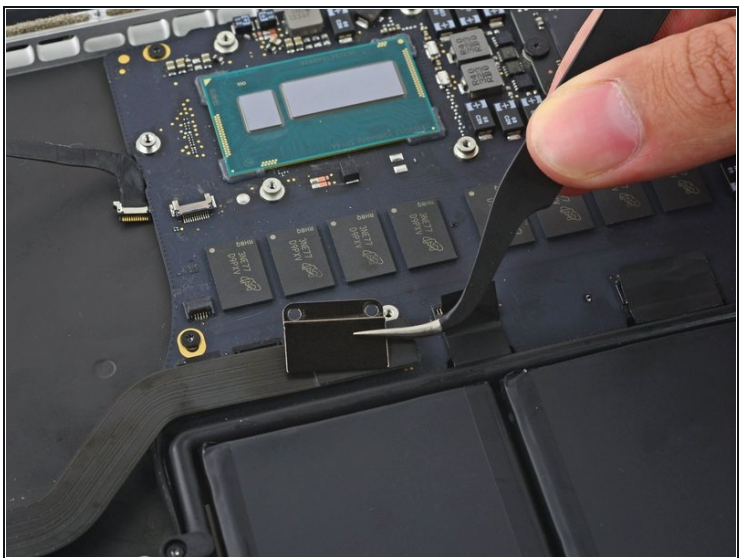
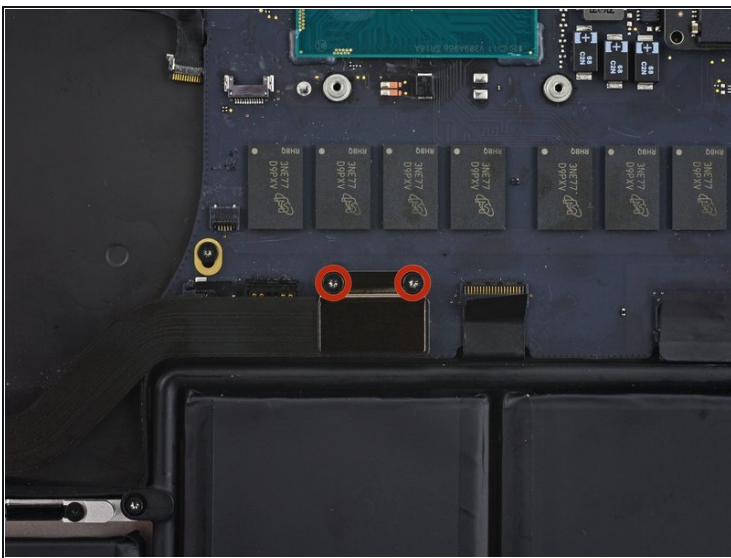
🔧 ツール:

T5トルクスドライバー (1)

スパッジャー (1)

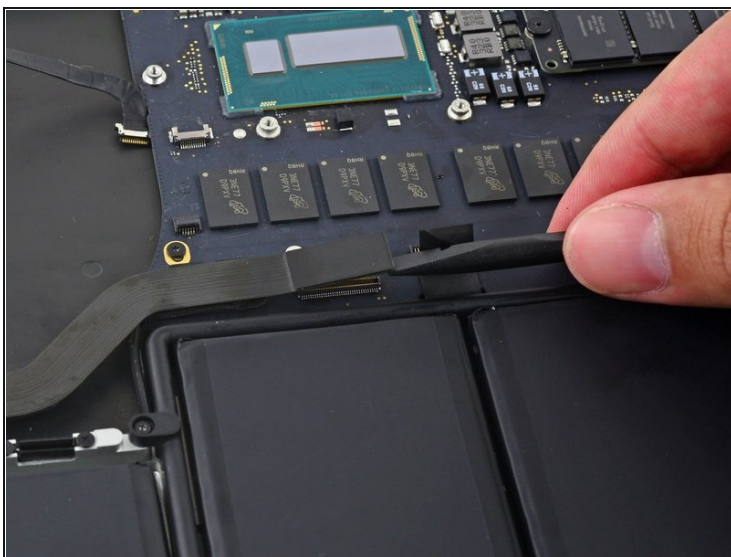
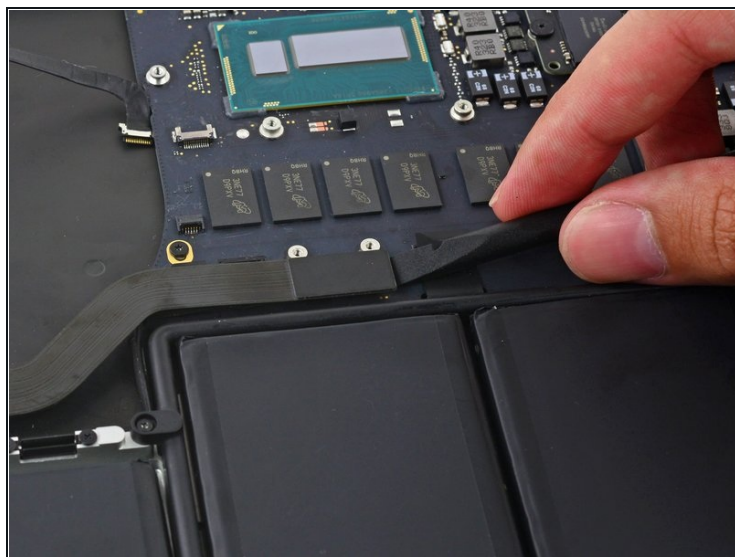
ピンセット (1)

手順 1 — ロジックボードアセンブリ



- ロジックボードに留められた出入力ボードから2.1 mm T5トルクスネジを2本外します。
- 出入力ボードのケーブルブラケットを取り出します。

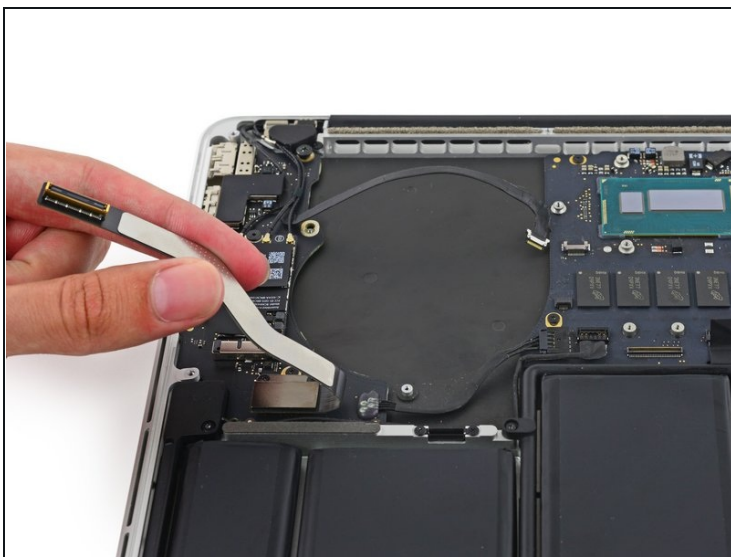
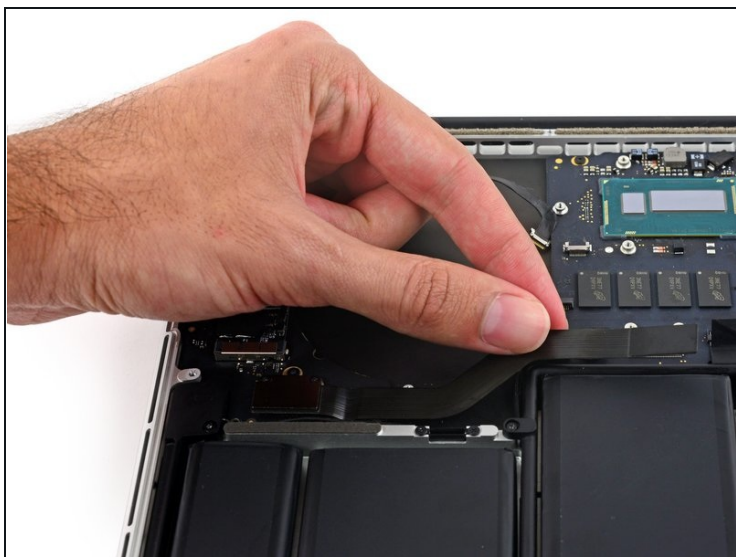
手順 2



- スパッジャーの平面側先端を使って、出入力ボードコネクタをロジックボード上のソケットからまっすぐ持ち上げて接続を外します。

⚠ 出入力ボードケーブルのみをこじ開けるようにご注意ください。ソケット自体には接触しないでください。ロジックボードにダメージを与えてしまう可能性があります。

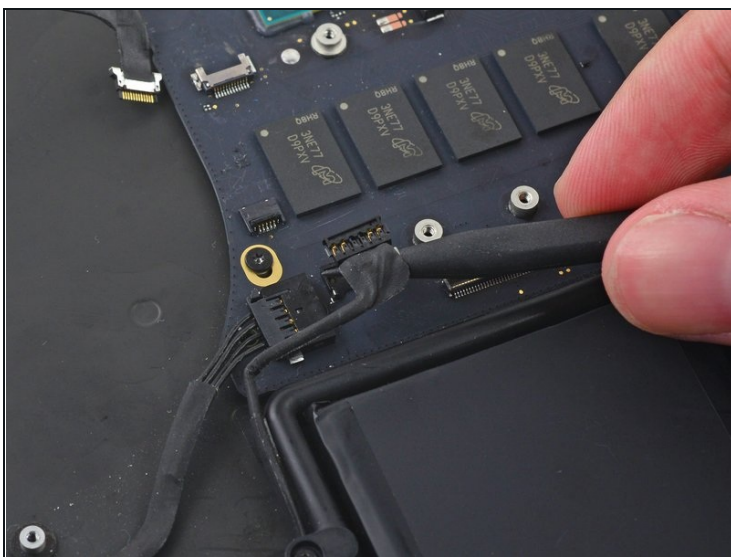
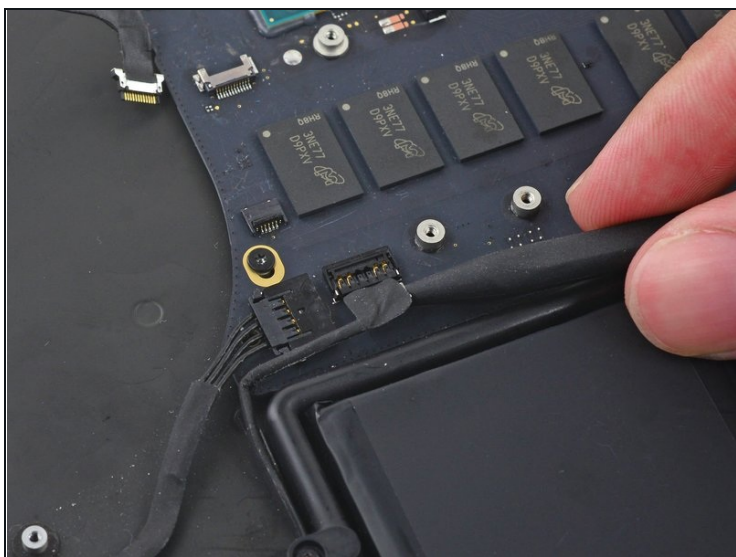
手順 3



- 出入力ボードケーブルのロジックボード先端を持ち上げて、作業の邪魔にならない位置に折り曲げます。

⚠ ケーブルにダメージが入らないように、ケーブルの出入力ボード先端のベンドのみ折り曲げてください。

手順 4



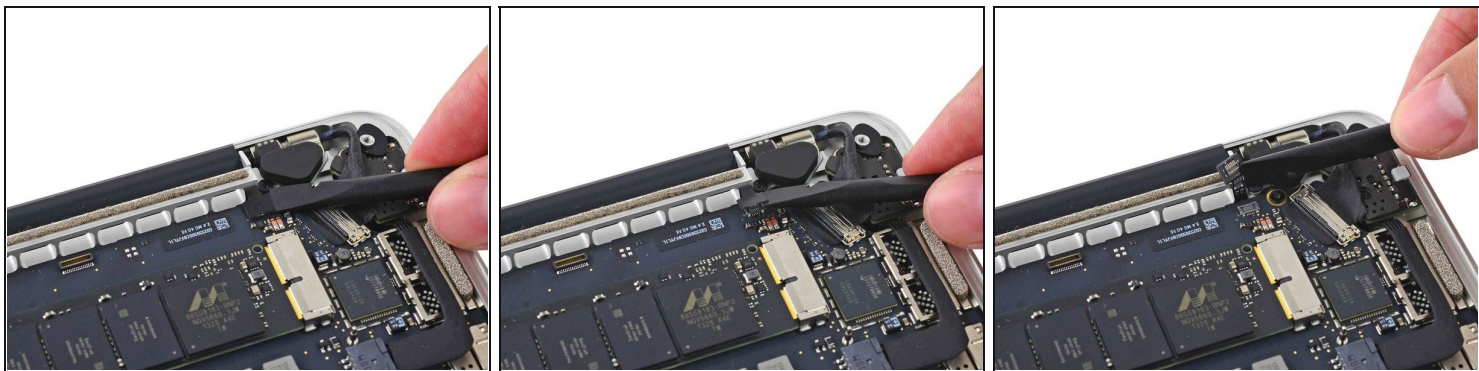
- スパッツァーの先端を使って、右側スピーカーのコネクターをロジックボード上のソケットからまっすぐ引き上げます。

手順 5



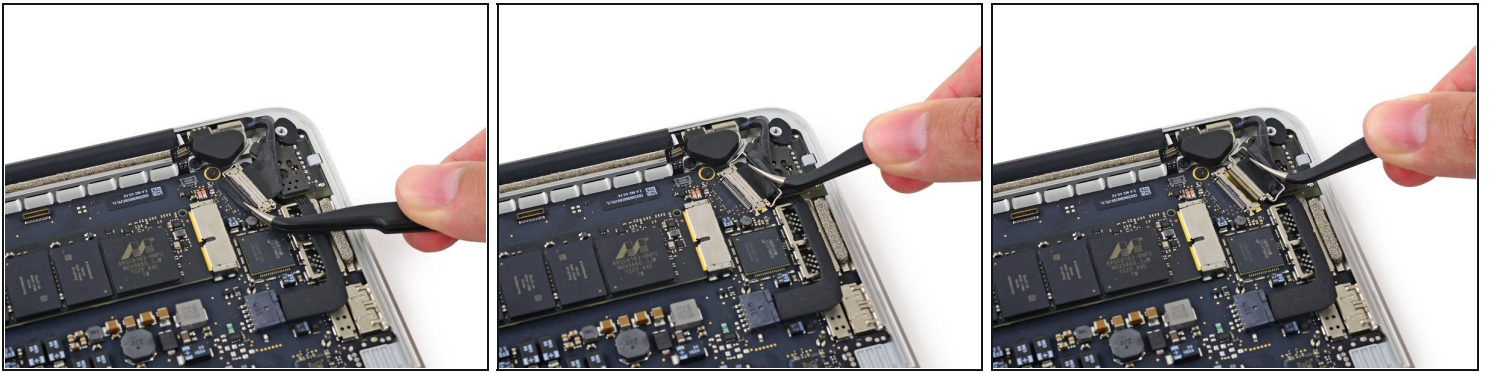
- スパッツァーの先端を使って、出入力ボードコネクタの一方を押し出し、ロジックボードのソケットから接続を外します。

手順 6



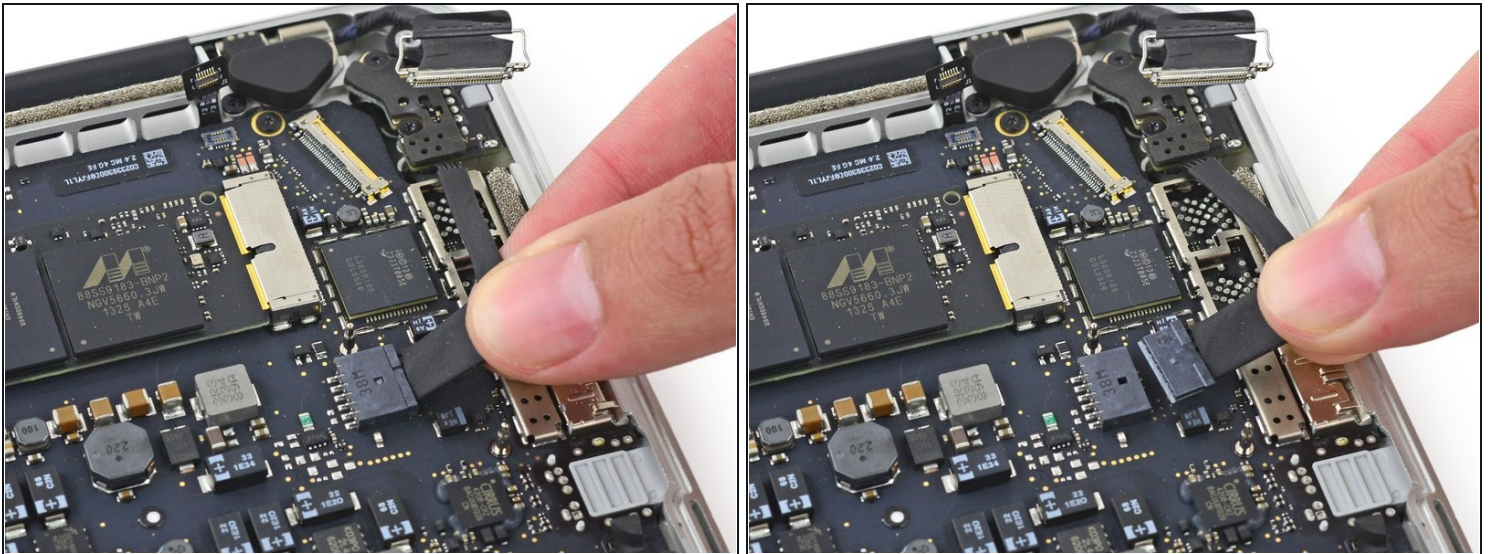
- スパッツァーの平面側の先端を使って、キーボードのバックライトケーブルの接続を外し、ロジックボードの邪魔にならない位置に折り曲げます。

手順 7



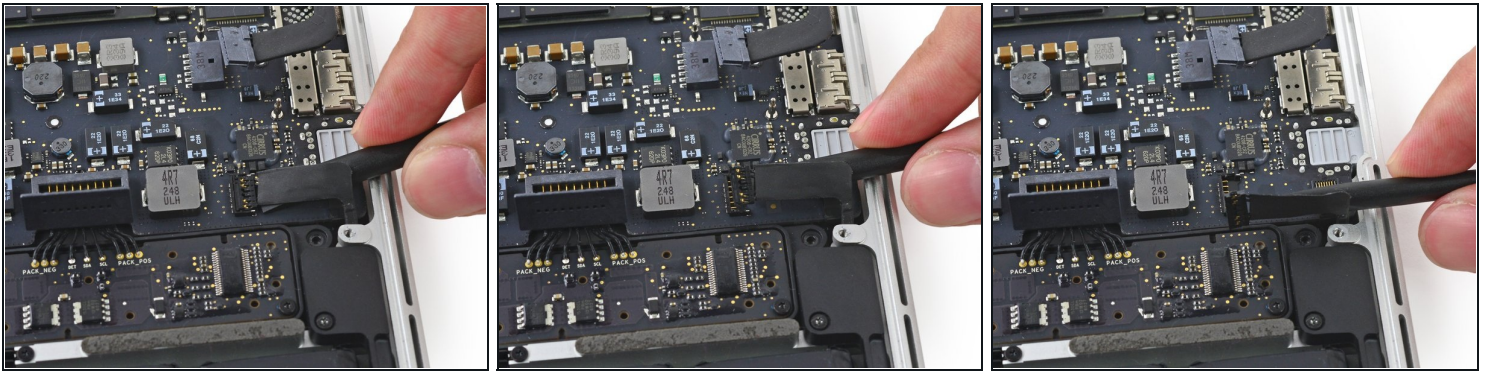
- 黒色のプラスチック製タブをつかんで、ディスプレイケーブルコネクタをひっくり返して開き、ロジックボード上のソケットをまっすぐ引き離します。

手順 8



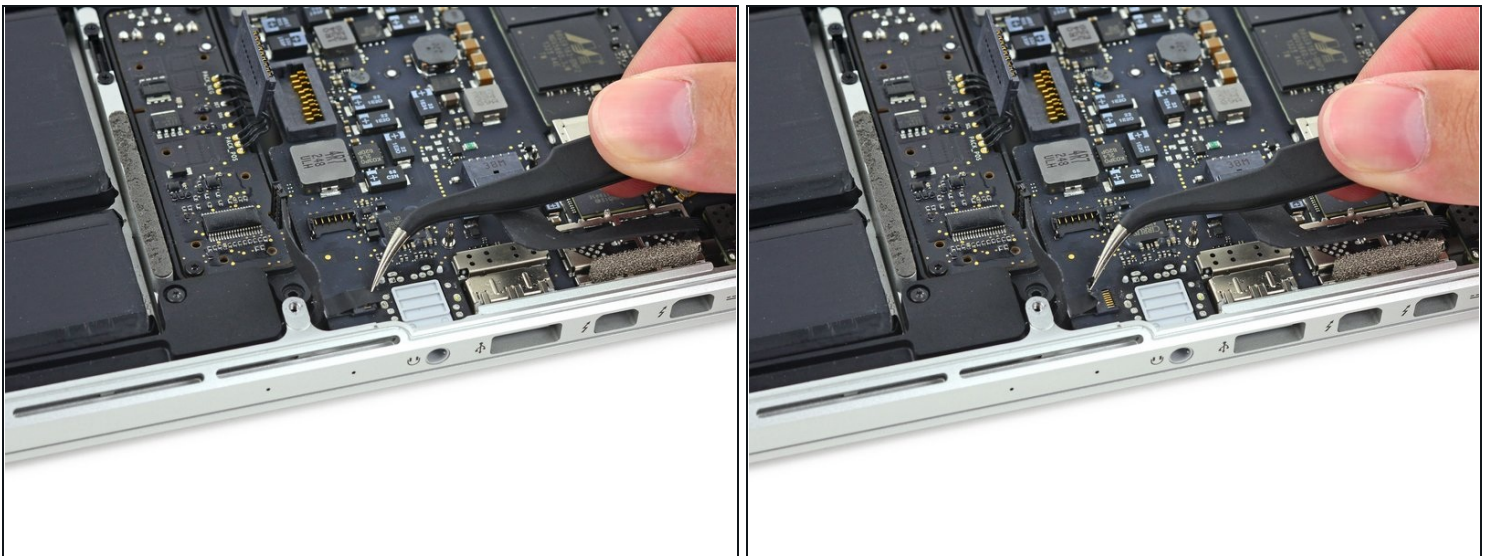
- ロジックボード上のソケットからDC INボードコネクタを引っ張って外します。

手順 9



- スパッツァーの平面側先端をコネクタ付近の左側スピーカーケーブルの下に差し込み、ソケットからまっすぐ持ち上げて作業の邪魔にならないように折り曲げます。

手順 10



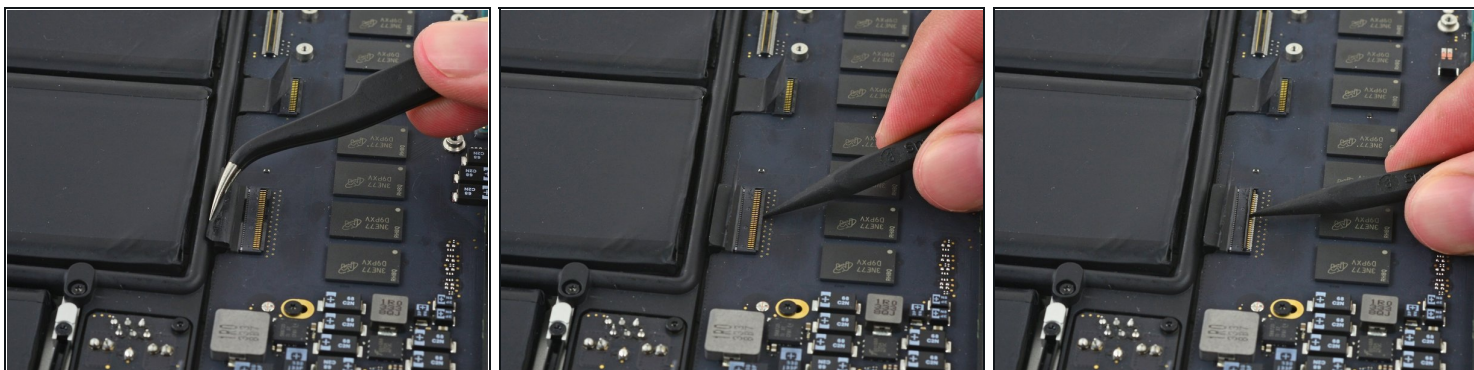
- ① 必要に応じて、マイクケーブルのZIF コネクタを覆っているテープを全て剥がします。

手順 11



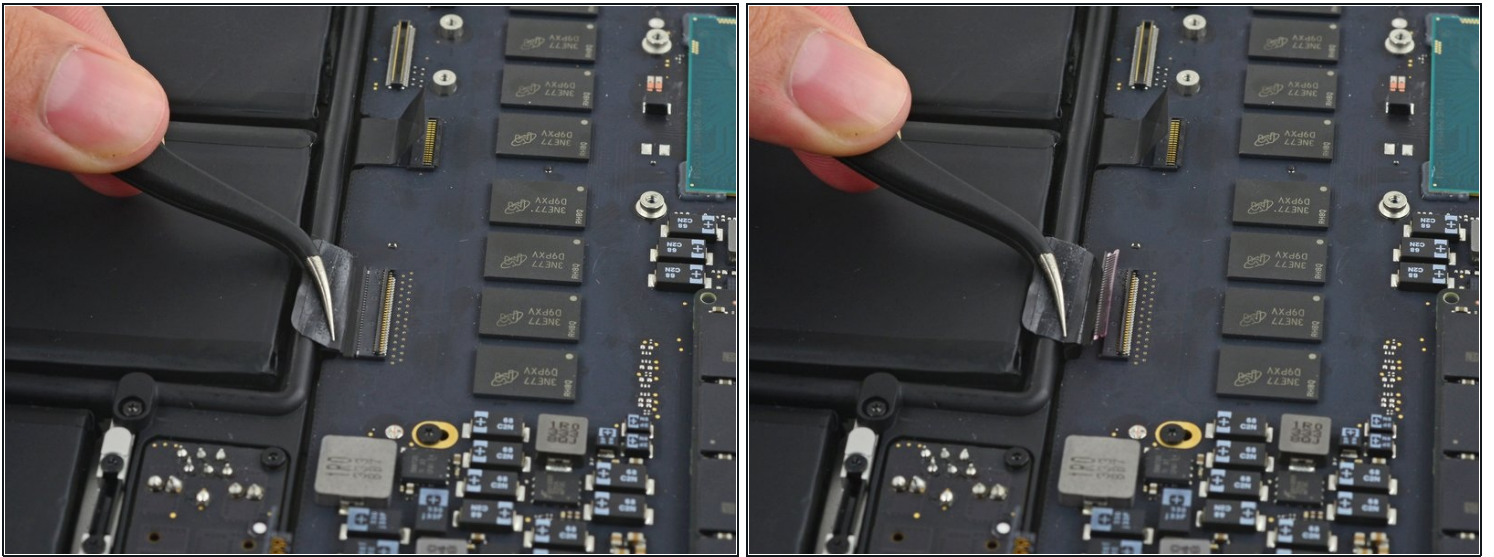
- スパッジャーの先端を使って、マイクケーブルのZIF コネクター上の固定タブをひっくり返します。
- マイクケーブルをロジックボード上のソケットから引っ張り取り出します。

手順 12



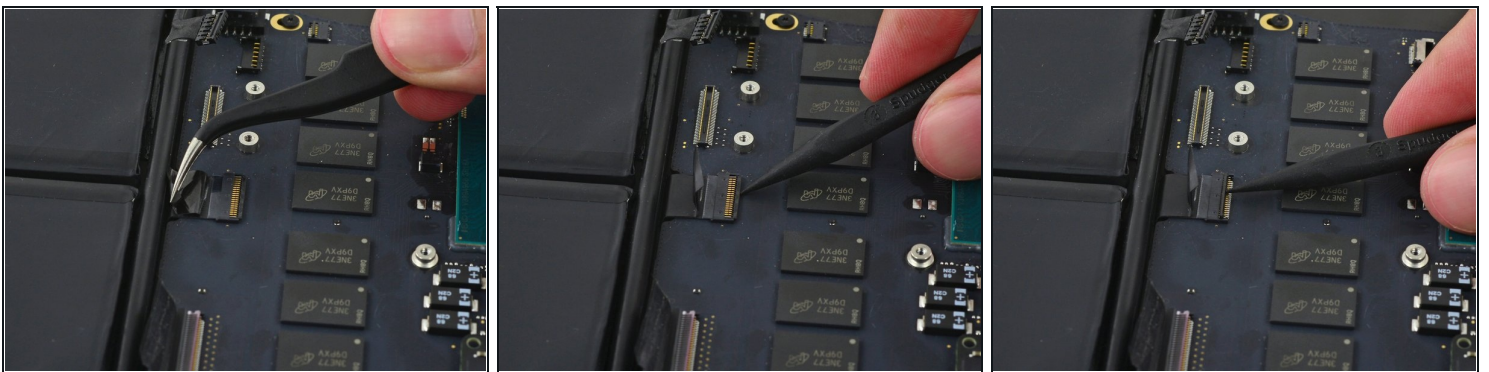
- ① 必要に応じて、キーボードケーブルコネクターを覆っているテープを全て剥いてください。
- スパッジャーの先端を使って、ZIFコネクター上の固定タブをひっくり返してください。

手順 13



- キーボードケーブルをロジックボード上のZIFソケットからまっすぐ引き上げます。

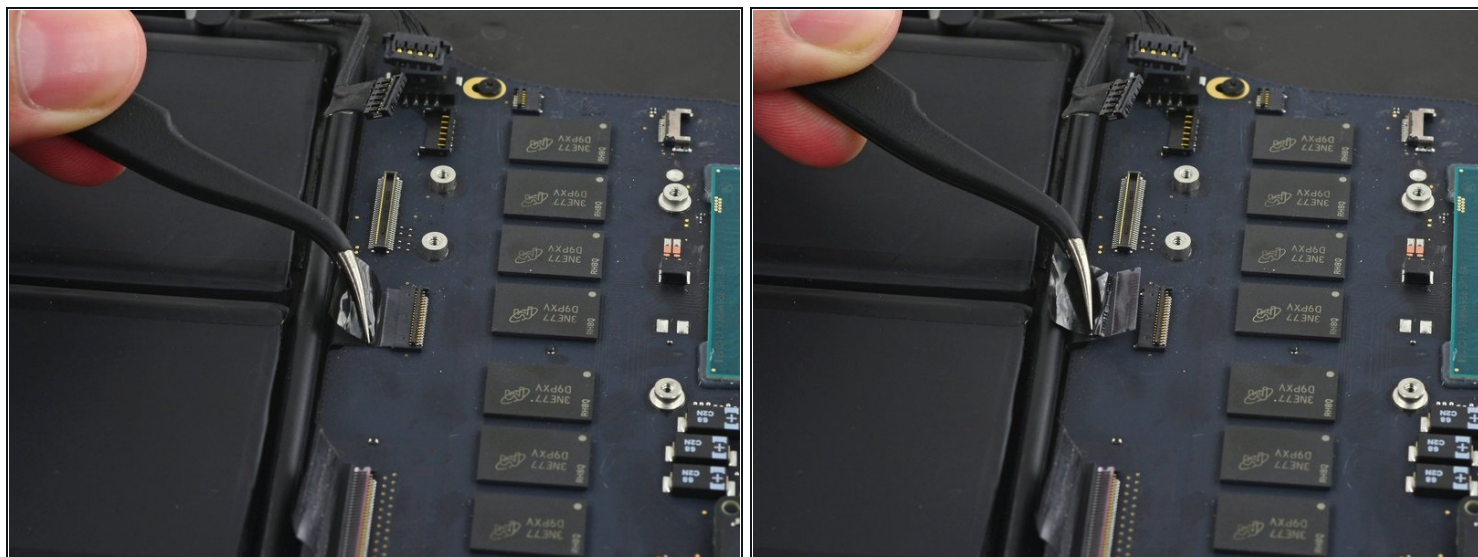
手順 14



- ① 必要に応じて、トラックパッドケーブルコネクタを覆っているテープを全て剥いください。

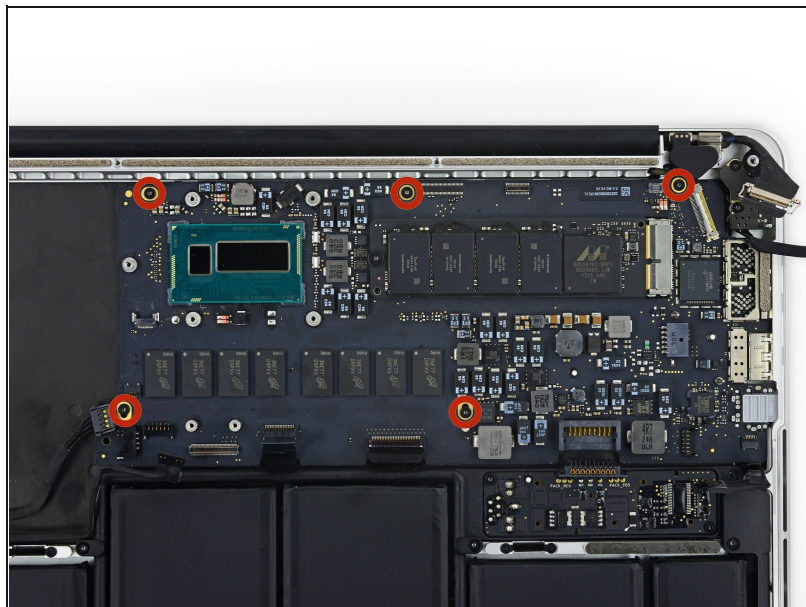
- スパッジャーの先端を使って、ZIFコネクタ上の固定タブをひっくり返します。

手順 15



- ロジックボード上のソケットから、トラックパッドリボンケーブルをまっすぐ引き上げます。

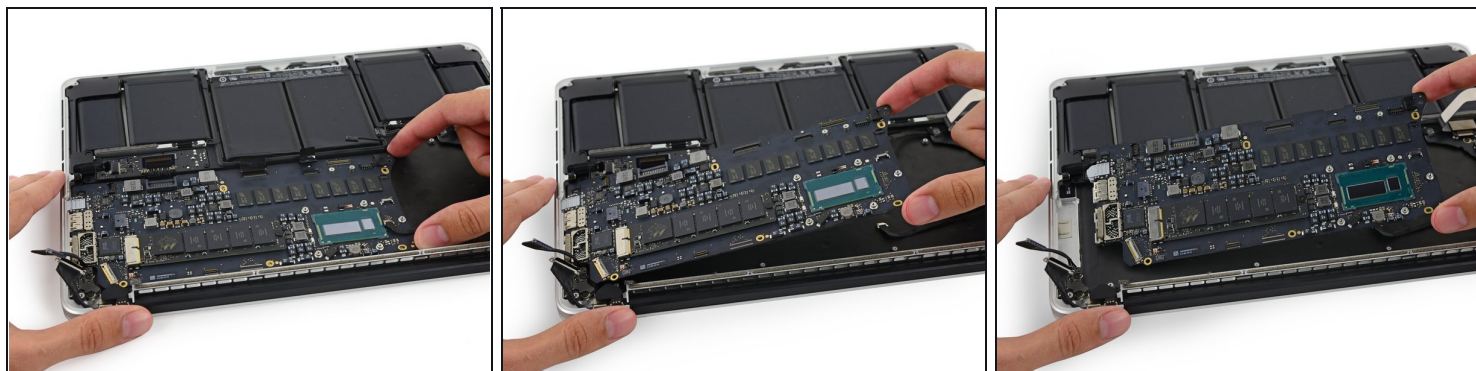
手順 16



- 上部ケースに留められたロジックボードから3.5 mm T5トルクスネジを5本外します。

- ☒ 再組み立てする際は、ロジックボード上に5本のネジを全て軽く装着してから、均等にネジを締めます。

手順 17



- ロジックボード上のプロセッサの端をわずかに持ち上げて、上部ケースの端からポートを取り出すためにファンの方向に向けて引っ張ります。
- ロジックボードを取り出します。
- ☑ 再組み立ての際はキーボード、キーボードのバックライト、MagSafeとマイクケーブルがロジックボードの下で絡まないようにご注意ください。
- ☑ また、ポートのメタル製EMIフィンガーをケースの側面に向かってスライドさせるのを忘れないでください。上に被せないでください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。